

登戸学寮ニュース

公益財団法人 登戸学寮
〒214-0032
神奈川県川崎市
多摩区枳形 6-6-1
発行人 福島 穆

追悼 故黒崎 潔さま



故 黒崎 潔さま

二〇一八年一〇月九日、登戸学寮の創設者、黒崎幸吉先生のご子息であられる黒崎潔さまが天に召されたとの知らせを登戸学寮経由で受け取りました。ああ、そんなにも病

理事長 福島 穆

が悪化していたのかとの印象を持ちました。同年九月の初め、山中湖で潔さまにお目にかかり、お父上の貴重な資料を多数所蔵する、学寮の黒崎幸吉記念資料室の整備状況についてご報告しようと考えておりましたが、私が山中湖に赴いた時には既に東京にお帰りになられた後で、入れ違いになってしまいました。健康状態についてお医者様に相談

するために、滞在予定を切り上げられたとのことでした。いずれご退院の節にまたお目に掛かる機会もあろうかと考えていたのが大きな誤りでした。報告をいたす機会もなく、潔さまは召されたのでした。誠に残念で申し訳なく反省しております。

故黒崎潔さまは、謂わば黒崎家の代表として登戸学寮の監事を長年お引き受けください、その任を素晴らしく果たされました。ご一緒に働かせて頂くようになった当初は、極めて寡黙な方かとお見受けしておりましたが、学寮の事情がお分かりになるにつれ、「親父ならこう考えただろう

※ 目次 ※

- 追悼 故黒崎 潔さま…………… 1
- 寮の行事紹介…………… 2
- 聖書のことば(「その男はあなただ」サムエル記下 二一章7節b)…………… 5
- 理事会・評議員会報告…………… 8
- コラム 俳句鑑賞の手引き(6) 俳人(学寮) 岸本尚毅…………… 10
- 寮友会より…………… 11
- 寮友会総会のご報告
私たちは同県人です
同期生消息…………… 12
- 感謝——創立六〇周年記念募金の第二年度の報告…………… 13
- ご案内…………… 13

……」という言い方で判断を示されることが多くなりました。幸吉先生のお側で、学寮の設立過程に身近で接しておられたということであったのでしよう。お父上のご遺志を常に尊重し、継承なさろうとしておられることをうかがわせるものでした。ご発言の根

底にあったのは、学寮は神様に捧げられたものとの信念でした。神様は必要な時に必要なものを必ず準備して下さい。創立六〇周年記念事業は、多くの方々の厚いご支援で支えられてきましたが、その中核には潔さまがおいでになりました。



寮入口の看板 黒崎潔さま書

まるでご自身の命を六〇周年記念のために捧げられた如くに天翔あまかけられたのでした。

また潔さまはお父上の薫陶を受けたのでしょうか、大変な能筆家でありました。おそらく黒崎家の兄弟姉妹一四名の中では一番の能筆振りでありましょう。学寮のあちこちに置く看板をお願いしましたら、快くお引き受け下さいました。「気分のよい時でないとき書けないのだよ」とのことです

したが、後日頂いたそれは見事なものでした。

また愛煙家でおられ、煙草が身から離せませんでした。私が潔さまの義弟である大島智夫氏を訪問した際に聞いた話では、潔さまは大島氏のところに来ると「お前の処には灰皿がない」と「苦情」をおっしゃっていたそうです。病名は正確には聞いてはいませんが、矢張り喫煙に関係があったそうです。黒崎家としては九〇歳という最高年齢でしたがせめてもの慰めともうかがいましたが、もつと長生きをして学寮の歩みをお守り頂きたく存じていました。

ご葬儀は町田の斎場で、心のこもった静かな家族葬でのお見送りをいたしました。天父のもとで安らかにと祈念いたします。

寮の行事紹介

◆六〇周年記念会&ホームカミングデー

一月二四日(土)午後一四時より、学寮にて「六〇年を超える未来へ」をテーマに六〇周年記念会&ホームカミングデーが開催されました。卒寮生の他、ゲストや在寮生、計五〇名が参加。記念会では元寮長や元職員の方々をゲストにお迎えして六〇年を

振り返った他、寮生(韓国からの留学生)が学生生活などについて発表しました。

ホームカミングデーでは、交流のひと時を楽しむとともに、クイズと六〇年後の寮生から届いた手紙(架空の設定)に対する返信を考えるというゲームがグループ対抗戦で行われ、盛り上がりました。また、学寮をテーマにした川柳大会が行われ、二名の卒寮生が入賞しました。▽大賞「真夜中に放蕩息子がまた帰る」

Tさん、▽寮友会長賞「小田急線乗るたび思う学寮時代」Wさん、▽寮生賞「日曜日休みになっても朝寝坊」Wさん。

その他、開寮当時の資料なども展示され、寮生時代に自身が書いた寮生日誌を見つけ、当時を懐かしむ卒寮生もいらつしやいました。

遠方よりご参加下さった卒寮生の方、当日参加はできなかったけれども寮のことを思い出して下さい下さった皆さま、ありがとうございます。



なお、当日、六〇周年記念事業として募った寄付は六万九〇〇〇円。学寮のポストカード売上は七二〇〇〇円でした。ご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。

(理事 織田千尋)



◆アドベント

クリスマスまでの備えの期間であるアドベント。その名は「接近する」を意味するラテン語の adventus に由来します。

今年もプレイルームにアドベントカレンダーが登場しました。制作にあたっては、Mさんが手伝いを買って出てくださいました。中身は開けてのお楽しみです。



◆年末大掃除

一二月九日(日)冬休みに入る前に恒例の大掃除を行いました。トイレの床や脱衣所の棚、窓など、普段はなかなか手入れの行き届かないところを隅々まできれいにしました。

冷蔵庫からいろいろなものが「発掘」されるのも恒例のこと。冷蔵庫の棚の洗浄は必須です。



◆クリスマス会

一二月一六日(日)レクリエーション委員会企画によるクリスマス会が開催されました。卒業生も参加した賑やかな会となりました。お腹を満たした後は、イラスト伝言ゲームや「人狼」など、ゲーム大会に。



この日のために「ニンテンドースイッチ」も新たに設置されました。スマッシュユブラザーズの腕に覚えのある方、入寮お待ちしています。



◆卒寮式

二月三日(日)、卒寮式を執り行いました。恒例の食事会は、Iさんの発案で、今回は「バーベキュー大会」に。寒さに震えながらの「クレイジー・バーベキュー」となるはずだったのですが、日頃の行いの

良さのおかげでしょうか、当日はポカポカの良い天気になりました。

その後、食堂に場所を移して卒寮式を開催。慣れ親しんだ場所で、和やかな雰囲気の中で、卒寮生がそれぞれ寮での思い出、在寮生へのアドバイ

スなどを思い思いに語ってくれました。

これからの活躍を祈りつつ、今年度は八人の寮生を新たな世界へと送り出しました。

◆入寮式

二〇一九年度は、男子四名、

女子二名の新入寮生を迎え、四月七日(日)一四時より入寮式を執り行いました。式では新入寮生がそれぞれに新生活への抱負を語ってくれました。

列席していた在寮生が急に指名を受けて登壇し、祝辞を述べるひと幕も。普段の朝





揮で鍛えた(?) 話術を披露して、式を盛り上げてくれました。

式のあとは恒例の軽食会でお祝いです。食後は中庭でフリスビーやドッジボールをしたり、プレイルームでスマブラ大会をしたり。

夕方には先輩が新入寮生を

誘ってカラオケへと出かけて行き、帰ってきてからも食堂でボードゲームをして親睦を深めていました。

新入寮生の皆さん、登戸学寮へようこそ。これからの生活が楽しみです。

(寮長 山吉裕子)

聖書のことば

「その男はあなただ」

『サムエル記下』二二章7節b

イスラエル二代目の王であるダビデは、旧約聖書の中でも最も有名な王の一人と評して良いでしょう。彼の生涯については、『サムエル記上』一六章から『列王記上』二章にかけて記されています。ベツレヘムの羊飼いたったエッサイの息子ダビデは、三〇歳でユダ部族の王に(サム下二一・4)、三八歳でイスラエル全体の王になりました(サム下五・5)。

彼はまだ年若い時に「豎琴を巧みに奏でるうえに、勇敢な戦士で、戦術の心得もあり、しかも、言葉に分別があつて外見も良く、まさに主が共におられる人」(サム上一六・18)と褒め称えられ、王となつてからもイスラエルの宿敵であるペリシテ人を繰り返し打ち破つて支配下に収めた他、周辺の諸民族を次々と服属させ、イスラエル王国を一躍強国に押し上げました。ちなみに、ミケランジロの代表作である「ダビデ像」は、若き日のダビデがペリシテ人の戦士ゴリアテに投石すべく、狙いを定めている場面を切り取つたものだと言われています。

◆
そのような輝かしい経歴の一方で、聖書に登場する他の

様々な人物と同じく、ダビデもまた過ちから逃れることはできませんでした。『サムエル記下』一一・一二章には、彼の犯した罪の一つが赤裸々に描かれています。

ある時ダビデは、ウリヤという人物の妻であるバト・シェバが水浴びをしているところを目にします。ダビデはこの美しい人妻を自分の元へ呼び、彼女はダビデの子を身籠ります。それを聞いたダビデは、夫であるウリヤを戦場から呼び戻し、隠蔽工作を図ります。しかしウリヤが職務に忠実であるがゆえにその策略は失敗に終わり、困り果てたダビデは

最終的に、戦場でウリヤが死ぬように仕向けるのです。こうして未亡人となったバト・シエバを、ダビデは妻として迎え入れました。王であるダビデのこの行いは、いわば「公然の秘密」として、誰にも咎められることなく闇に葬られるはずでした。しかし、神はダビデのもとに預言者ナタンを遣わし、次のように語らせました。



ミケランジェロ作「ダビデ像」(1504年)
アカデミア美術館(フィレンツェ)所蔵

二人の男がある町にいた。
一人は豊かで、一人は貧しかった。
豊かな男は非常に多くの羊や牛を持っていた。
貧しい男は自分で買った一匹の雌の小羊のほかは何一つ持っていなかった。
彼はその小羊を養い、小羊は彼のもとで育ち、息子たち



ルカス・クラナツハ作
「ダビデとバト・シエバ」(1526年)
絵画館(ベルリン)所蔵

画面上方に、豎琴を手にして覗いているダビデの姿が描かれている。

と一緒にいて彼の皿から食べ、彼の腕から飲み、彼のふところでも眠り、彼にとつては娘のようだった。
ある日、豊かな男に一人の客があった。彼は訪れて来た旅人をもてなすのに自分の羊や牛を惜しみ、貧しい男の小羊を取り上げて、自分の客に振る舞った。
(サム下二一1b-4)

怒して、次のように言います。「そんなことをした男は死罪だ。小羊の償いに四倍の価を払うべきだ。そんな無慈悲なことをしたのだから」(サム下二5b-6)。
このダビデの反応は、彼が健全な判断力を有していること、また律法の知識があり、それを厳格に適用することを良しとしていることを示しています。ユダヤの律法では「人が牛あるいは羊を盗んで、これを屠るか、



レンブラント作「水浴するバト・シェバ」(1643年)
ルーブル美術館(パリ)所蔵

売るかしたならば、牛一頭の代償として牛五頭、羊一匹の代償として羊四匹で償わねばならない」とされているからです(出二二37)。貧しい男に同情し、豊かな男の振る舞いに激怒して死刑判決を言い渡したダビデに対し、ナタンは告げます。

「その男はあなただ。」

(サム下二二7b)

ダビデは判断力に欠けていたがゆえに、バト・シェバと通じたわけではありません。十分な判断力を有していたにもかかわらず、それを自らの行いに当てはめて考えることができなかったのです。しかもナタン

の話では、豊かな男は「旅人をもてなすため」、すなわち他人のために貧しい人の小羊を取り上げたときれています。ダビデは他人のためですらなく、自らの欲望を満たすために取り上げたのです。

ダビデが犯した罪は、それだけに留まりません。自分の行為の隠蔽が上手くいかないことが分ると、「貧しい男」ウリヤが死に至るよう画策さえしています。義憤に駆られて振り上げた拳が自らに向かつてきたダビデに弁解の余地はありませんでした。



聖書は物語の宝庫です。私たちは話の中の登場人物に自己や他者の姿を見出し、その振る舞いを批判したり同情したりします。しかし、いったい「誰に」自己を投影しているのかということに関しては、時と



セバステアーン・リッチ作「バト・シェバ」(1725年頃)
ベルリン国立美術館(ベルリン)所蔵

して驚くほど無自覚です。ダビデとバト・シェバの物語は、ダビデの犯した罪を糾弾するためだけに伝えられたわけではありません。健全な判断力と知性を有しているにもかかわらず過ちを犯し、「豊かな男」が自分のことだと気付くこと

のできなかったダビデを、自分とは無関係な愚かな男だと断罪する時、私たちの耳に預言者ナタンの声が響いて来ます。「その男はあなただ。」

(山吉裕子)

画面奥に、手すりから身を乗り出すようにして覗いているダビデの姿が描かれている。

理事会・評議員会報告

1. 理事会、評議員会の開催

公益財団法人登戸学寮の臨時理事会は二〇一八年一月二四日(土)に、定例理事会と評議員懇談会は二〇一九年三月一六日(土)に登戸学寮で開催されました。以下にその議事内容について報告します。

2. 二〇一九年度事業計画、予算

三月の理事会及びその後のみなし評議員会(別表(収支計算書)の通り新年度予算が承認されました。二〇一九年度予算は、二〇一八年度第

三四半期の実績の数字をベースに試算した年度末実績見込を踏まえつつ、新入寮生数、寄付収入等一定の前提条件を置いた上で、作成しました。

經常収入(事業活動収入)については、入寮者数七名(うち一名留学生)、在寮者数二一名(留学生枠三名)(昨年度当初対比七名減)を想定するとともに、寮生数の減に伴う収入減(昨年度予算対比約五五〇万円マイナス)を補うため、一般寄付は、大口寄付を含めて、五〇〇万円を見込みました(昨年対比四〇〇万円プラス)。經常支出(事業活動支出)については、寮生数の減に伴う雑給手当や賄い材料費の削減等極力経費の節減を図ること

としました。

六〇周年寄付については、大口寄付を含めて七〇〇万円を見込む一方、六〇周年記念工事については、基本的には、諸般の事情により、二〇二〇年度に延期することとしました。

こうしたいくつかの前提条件の下で、新年度予算の全体収支を算定すると、事業活動収入計は、三〇三万円、事業活動支出計は、二二二万円、事業活動収支差額八一〇万円となります。これから、投資的経費として、六〇周年寄付積立予定額七〇〇万円を除き、さらに例年の建物再建特定資産積立三七〇万円を差し引いた当期収支差額は、

マイナス二六〇万円と見込まれます。ただし、これでも、一

般寄付五〇〇万円、在寮生数二一名を前提にしたもので、予算想定を一名下回る毎に約七〇万円の収入減になるという極めて厳しい財政状況に留意する必要があります。このため、様々なチャネルを通じて寮生募集に学寮関係者一体となり、不転の決意をもって取り組むことが何よりも不可欠であります。

なお、二〇一八年度の収支見込において、事業活動収支の赤字化が懸念される中、建物再建特定資産積立に繰り入れる余裕金がないため、特別の措置として、基本財産の定期預金から三七〇万円を同特定資産に積立てることを確認しました。資金調達及び設備投資の見込み(具への報告事項)に関しては、六〇周年記念工事(耐震補強等関連工事)の実施時期は、二〇二〇年度を予

定します。

3. 特記事項

(1) 次期評議員選定委員の一
部変更

蟹江雅彦評議員選定委員(評議員)の辞任申し出があったため、岸本尚毅評議員を後任の評議員選定委員として選定しました。

(2) 次期評議員、理事候補の
選定

評議員選定委員会(四月二七日開催予定)に向けて、理事会推薦の次期評議員候補二三名を選定しました。また、理事会推薦の次期理事候補一〇名と次期監事候補二名を五月理事会で再度確認するという前提で選定しました。

(3) 六〇周年記念会&ホーム
カミングデー

二〇一八年一月二四日に

平成 31 年度予算(収支ベース)

法人名:公益財団法人 登戸学寮

2019.02.23

事業名:事業全体

(A)

(B)

(単位:円)

| 科目 | 30 年度予算額 | 30 年度実績予測額 | 31 年度予算案 | (A)と(B)の差異 | 備考 |
|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|------------------|
| I 事業活動収支の部 | | | | | 今年度実績予測の反映 |
| 事業活動収入 | | | | | |
| 基本財産運用収入 | 15,000 | 0 | 0 | -15,000 | |
| 基本財産受取利息収入 | 15,000 | 0 | 0 | -15,000 | |
| 入寮費収入 | 900,000 | 300,000 | 900,000 | 0 | 入寮費:15万円 |
| 入寮費収入 | 900,000 | 300,000 | 900,000 | 0 | 新入寮生7名(留学生1名) |
| 寮費収入 | 22,400,000 | 20,244,000 | 16,920,000 | -5,480,000 | 21名想定(留学生枠3名) |
| 寮費収入(室料) | 18,400,000 | 16,663,000 | 9,864,000 | -8,536,000 | 4.2万×21×21-6万×21 |
| 寮費収入(食事代) | 3,300,000 | 2,846,000 | 3,780,000 | 480,000 | 2万×21人×9か月 |
| 共益費等寮生徴収金 | 700,000 | 670,000 | 3,276,000 | 2,576,000 | 1.3万×21人×12か月 |
| 短期宿泊料収入 | 0 | 65,000 | 0 | 0 | |
| 寄付金収入 | 8,000,000 | 10,821,000 | 12,000,000 | 4,000,000 | |
| 寄付金収入(一般) | 1,000,000 | 721,000 | 5,000,000 | 4,000,000 | 大口寄付を含む |
| 寄付金収入(60周年事業) | 7,000,000 | 10,100,000 | 7,000,000 | 0 | 大口寄付を含む |
| 雑収入 | 51,000 | 505,000 | 51,000 | 0 | |
| 受取利息収入 | 1,000 | 15,000 | 1,000 | 0 | |
| 雑収入 | 50,000 | 490,000 | 50,000 | 0 | 同上 |
| 特定費用準備金取崩収入 | 2,000,000 | 1,000,000 | 500,000 | -1,500,000 | |
| 事業活動収入計 | 33,366,000 | 32,870,000 | 30,371,000 | -2,995,000 | |
| 事業活動支出 | | | | | |
| 人件費 | 8,900,000 | 8,300,000 | 8,300,000 | -600,000 | 今年度実績予測の反映 |
| 福利厚生費 | 700,000 | 700,000 | 700,000 | 0 | |
| 賄材料費 | 3,000,000 | 2,716,000 | 2,600,000 | -400,000 | 今年度実績予測の反映 |
| 役員会開催諸費 | 300,000 | 246,700 | 300,000 | 0 | |
| 会議費 | 200,000 | 10,000 | 100,000 | -100,000 | |
| パート交通費 | 200,000 | 210,000 | 200,000 | 0 | |
| 寮生福利厚生費 | 50,000 | 41,000 | 50,000 | 0 | |
| 寮生活動支援費 | 500,000 | 330,000 | 450,000 | -50,000 | 国内及び海外研修(40万円) |
| 寮生指導費 | 50,000 | 0 | 50,000 | 0 | (上記は、特定費用準備金支出) |
| 旅費交通費 | 50,000 | 21,000 | 50,000 | 0 | |
| 通信運搬費 | 800,000 | 1,137,000 | 900,000 | 100,000 | (10万円は特定費用準備金) |
| 消耗品費(厨房関連) | 100,000 | 119,000 | 100,000 | 0 | |
| 消耗品費(厨房以外) | 100,000 | 162,000 | 100,000 | 0 | |
| 事務用品費 | 200,000 | 224,000 | 200,000 | 0 | |
| 消耗什器備品費 | 500,000 | 151,000 | 500,000 | 0 | |
| 修繕費 | 300,000 | 1,115,000 | 500,000 | 200,000 | |
| 印刷製本費 | 690,000 | 1,100,000 | 700,000 | 10,000 | |
| 方舟刊行費 | 350,000 | 350,000 | 350,000 | 0 | |
| 講演会等諸雑費 | 150,000 | 290,000 | 200,000 | 50,000 | |
| 電気代 | 1,200,000 | 1,163,000 | 1,200,000 | 0 | 実態に合わせる |
| ガス代 | 700,000 | 619,000 | 700,000 | 0 | 同上 |
| 水道代 | 550,000 | 540,000 | 550,000 | 0 | 同上 |
| 灯油代 | 50,000 | 40,000 | 50,000 | 0 | |
| 諸謝費 | 50,000 | 15,000 | 50,000 | 0 | |
| 広報費 | 900,000 | 900,000 | 900,000 | 0 | 広報対策強化継続 |
| 図書費 | 30,000 | 9,000 | 30,000 | 0 | |
| 防災費 | 250,000 | 136,000 | 250,000 | 0 | |
| 支払報酬料 | 600,000 | 641,000 | 600,000 | 0 | 税理士等 |
| 災害保険料 | 470,000 | 472,000 | 470,000 | 0 | |
| 租税公課 | 350,000 | 358,000 | 350,000 | 0 | |
| 新聞図書費 | 50,000 | 55,000 | 50,000 | 0 | |
| 諸会費 | 70,000 | 56,000 | 70,000 | 0 | |
| 支払手数料 | 150,000 | 136,000 | 150,000 | 0 | |
| リース料 | 200,000 | 312,000 | 300,000 | 100,000 | 監視カメラ等 |
| 雑費 | 200,000 | 234,000 | 200,000 | 0 | |
| 事業活動支出計 | 22,960,000 | 22,908,700 | 22,270,000 | -690,000 | |
| 事業活動収支差額 | 10,406,000 | 9,961,300 | 8,101,000 | -2,305,000 | |
| II 投資活動収支の部 | | | | | |
| 投資活動収入 | 0 | 3,700,000 | 0 | 0 | |
| 修繕等特定積立資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | (60周年工事費充当) |
| 基本財産定期預金取り崩し収入 | | 3,700,000 | | | (建物再建積立に充当) |
| 投資活動支出 | 10,700,000 | 13,800,000 | 10,700,000 | 0 | |
| 特定資産取得支出 | 10,700,000 | 13,800,000 | 10,700,000 | 0 | |
| 建物再建特定積立資産取得支出 | 3,700,000 | 3,700,000 | 3,700,000 | 0 | |
| 修繕等特定積立資産取得支出 | 5,000,000 | 8,100,000 | 6,000,000 | 1,000,000 | |
| 特定費用準備金取得支出 | 2,000,000 | 2,000,000 | 1,000,000 | -1,000,000 | |
| 投資活動収支差額 | -10,700,000 | -10,100,000 | -10,700,000 | 0 | |
| III 財務活動収支の部 | | | | | |
| 財務活動収支差額 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| IV 予備費支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 当期収支差額 | -294,000 | -138,700 | -2,599,000 | -2,305,000 | |
| 前期繰越収支差額 | 5,825,520 | 5,544,807 | 5,406,107 | | |
| 次期繰越収支差額 | 5,531,520 | 5,406,107 | 2,807,107 | -2,724,413 | |

学寮で催された六〇周年記念会&ホームカミングデーには、五〇名(男性四一名、女性九名)の参加があり、一般的に好評であったという報告がありました(本ニュースに詳細報告有り)。

(4)黒崎幸吉記念キリスト教講演会
今年度の黒崎幸吉記念キリスト教講演会は、下記の通り開催されることになりました。

【日時】
二〇一九年六月二日(日)
午後二時―五時

【場所】
今井館聖書講堂
東京都目黒区中根一―四九

【講師】
松尾 草太郎(二〇一八年
度卒業生)
「アメリカのバリアフリ

山岸 礼奈(在寮生・成城大
学三年)

「マレーシア・ボルネオ島ス
タデイーツアーに参加し
て」

佐藤 全弘(愛農学園農業高
等学校理事/キリスト
教愛真高等学校元理事
長・現理事)
「藤井武と黒崎幸吉」

【会費】
一般千円・学生三百円

(5)寮生寮外活動
本年度は松尾草太郎さん
(アメリカ)、山岸礼奈さん(マ
レーシア、ボルネオ島)、谷口
舞さん(フィリピン)の三名が
支援対象となり海外研修を行
い、結果の報告は黒崎幸吉記
念講演会と報告会、および「方
舟」誌上で行うことが報告さ
れました。
(理事 小島拓人・小西孝蔵)

コラム 俳句鑑賞の手引き(6)

俳人(学寮OB) 岸本 尚毅

今回は、俳句になぜ季語が必要とされるかについてご説明します。

「古池や蛙飛び込む水の音」というような、五七五の形をした韻文が、一個の独立した詩歌作品として制作され、鑑賞されるようになったのは、いつ頃からでしょうか。

大まかに申しますと、古くは鎌倉時代あたりから人々に愛好された「連歌(れんが)」という形式の詩歌があり、五七五という形は少なくともそのあたりまでは遡ることが出来ます。以下、代表的な連歌の作品である『水無瀬三吟百韻』の冒頭の部分をご紹介します。

| | |
|-------------------|----|
| 雪ながら山もと霞む夕べかな(発句) | 宗祇 |
| 行く水遠く梅匂ふ里(脇句) | 肖柏 |
| 川風にひとむら柳春みえて(第三) | 宗長 |
| 船さす音もしるき明け方 | 宗祇 |
| 月やなほ霧渡る夜に残るらん | 肖柏 |
| 霜置く野原秋は暮れけり | 宗長 |
| 鳴く虫の心ともなく草枯れて | 宗祇 |
| 垣根をとへばあらはなる道 | 肖柏 |

『水無瀬三吟百韻』の成立年代は、今から約五百年前の西暦一四八八年。室町時代です。ここにあげたのは八句ですが、これとおなじような具合に五七五の句と七七の句が交互に合計百句連なつて一巻の作品となります。宗祇、肖柏、宗長は当時の有名な「連歌師」で、貴族や大名を相手に連歌の興行をしたり、文学の講義(源氏物語など)をしたりしていました。この作品は三人で詠んだ連歌なので「三吟」というわけです。

ここに挙げた句のうちの一句目の「雪ながら山もと霞む夕べかな」を「発句(ほつく)」と言います。一巻の出発点となる句というような意味でしょう。作者の宗祇は連歌師として各地を旅した人で、文学史でお馴染みです。

この「発句」が、今日の俳句の遠いご先祖様のようなものです。句の意味は、峰に雪が残っているものの山のふもとには霞んでいる、そんな夕であることよ、といったところ。「霞」が春の季語です。「雪」は冬のものですが、この句の場合、春になつても雪が残っているのです。発句に季語を詠み込むのは連歌の約束事です。その約束事が数百年を経て、今日の俳句に継承されている、というわけです。(続く)

寮友会より

登戸学寮卒業生の皆さんにおかれましては、寮友会活動に変わらぬご支援ご協力をいただき、本紙をお借りして厚く感謝を申し上げます。

寮友会総会のご報告

毎年恒例となっている寮友会総会ですが、昨年十一月二四日(土)十一時から、登戸学寮で開催いたしました。
寮友会総会での審議事項は以下五議案でした。

- ・一号議案：前年度事業報告
- ・二号議案：前年度決算および監査報告
- ・三号議案：新年度役員選出

- ・四号議案：新年度事業計画
- ・五号議案：新年度予算

これら全ての議決内容は、昨年十二月に発行された「方舟五九号」の寮友会欄(九一―九三頁)に掲載されていますので、本紙では本年度役員選出を決定する三号議案及び四号議案に關して再度ご案内します。

新年度の役員として、金井守さん、北村寛さん、櫛田俊明さん、副島茂さん、副島浩さん、堤和通さん、古角修さん、古角隆さんの八名が幹事に、蟹江雅彦さんと岸本尚毅さんが監査役に選任されました。
また総会終了後に開催された寮友会役員会での互選の結果、会長：櫛田俊明さん、副会

長：副島茂さん、会計：古角隆さんという布陣がスタートいたしました。

次いで、四号議案の本年度事業計画としては、以下記載の方針が、賛成多数で可決されました。

- 一、寮友会総会を十一月に開催します。
- 二、『登戸学寮ニュース』の発行タイミングに合わせ、寮友会関連記事を提供し、紙面の充実に協力します。
- 三、『寮友会ホームページ』にて、タイムリーな情報提供を継続し、コンテンツの充実に努めます。
- 四、『卒業生名簿』のメンテナンスを継続します。
- 五、登戸学寮PRツールを活用して、新寮生勧誘活動を活性化し、空室問題解決に貢献します。
- 六、卒業生から公益財団法人登戸学寮への寄付額アップに

貢献します。
七、『方舟六〇号』の制作を支援します。

八、卒業生同士および寮生との交流を促進します。

■ 私たちは

同県人です

今回は、大分県、福井県、富山県在住の卒業生の方をお届けします。現住所の上の数字は入寮年次です。

✿ 富山県(一名)

◎ 関谷史朗さん
一九八三年、富山市

■ 同期生消息

(一九七三年入寮)

登戸学寮の一六期生の方々の消息をお伝えします。

◎ 安藤浩一さん
埼玉県所沢市在住

◎ 漆畑論樹さん
東京都武蔵野市在住

◎ 直木葉造さん
三重県伊賀市在住

◎ 濱田雄士さん
三重県伊賀市在住

◎ 鷺崎安久さん
さいたま市西区在住

● 入寮時寮長 前野 正先生

これらのデータは、全て寮友会名簿に基づいておりますが、必ずしも正確に記されているわけではない

けではありませんので、間違いを見つけた方は、寮友会会長にご一報をお願いします。

●一九七三(昭和48)年の主な出来事

二月一四日 円が変動相場制に移行。スタートは、一ドル＝二七七円。

五月六日 競走馬ハイセイコー、NHK杯に勝ち十連勝して、その人気爆発する。



六月 シャープから液晶電卓新発売。ビジネスマンの必需品に。



八月三日 女優、吉永小百合が結婚。

八月八日 韓国の政治家、金大中が東京のホテルから拉致される。

九月頃 ザ・ドリフターズ主演のテレビ番組「八時だよ。全員集合」が視聴率五〇%以上に到達。

十月六日 第四次中東戦争勃発。

十月二三日 第一次石油パニック発生。人々はトイレットペーパーを買い込む。

十一月二〇日 セブン・イレブン・ジャパン設立。
(寮友会会長 蟹江雅彦)

感謝——創立六〇周年記念募金の第二年度の報告

二〇一七年四月にスタートしました、創立六〇周年記念事業の中核の募金につきましては、第二年度目が終了する二〇一九年三月末現在で、延べ八〇七名(うち集会二二)の方から二二四〇万円の寄附を頂きました。募金期間三年(二〇一七年度～二〇一九年度)、目標金額三〇〇〇万円に對しまして、後一步までに到達したことになります。先ず以ってご協力を頂きました多くの方々のご厚意に對して厚く感謝申し上げます。

従来、周年募金につきましては、「十年毎の建物の定期補修工事」への支出が主な用途でありましたが、今回の六〇周年寄附では「寮生の寮外活動支援」をもう一つの柱としております。この寮生の寮外活動につきましても、この一年間もアメリカ、マレーシア、フィリピンに三名の寮生がこの支援制度を活用して、得難い海外研修の機会を持つことができ、その体験につきましては、今年六月の黒崎幸吉記念キリスト教講演会や『方舟』で報告がなされる予定です。

学生寮のアパート化が一般的に進んでいる中で、聖書の学びを通して人間力を養う登録学寮は特異な存在であります。が、こうした寮生の寮外活動を更に充実させて在寮期間中に出来るだけ多くの寮生が新たな寮外経験を積む機会を提供して、以って登録学寮の本来の使命を更に充実させたく存じます。

つきましては、六〇周年記念事業の最後となります後一

年、皆様のご協力を改めてお願い致したく存じ上げます。また、本誌に通常寄附と六〇周年記念寄附の二枚の「払込取扱票」を同封させて頂きますので、ご無理のない範囲でのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人登録学寮
創立六〇周年記念事業委員会

委員長 大島智夫
理事長 福島 穆
寮 長 山吉裕子

付記

募金の当初から満二年間、裏方として寄附金の名簿作成、管理の作業に携わって頂きました三矢尚様に厚く謝意を表します。

ご案内

来る六月二日(日)午後二時より、今井館聖書講堂にて、黒崎幸吉記念キリスト教講演会を企画しています。

今年度は、佐藤全弘氏による講演の他、二〇一八年度に寮生活動支援を利用して研修を実施した寮生たちによる成果披露の場ともなる予定です。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

入寮のご案内

登戸学寮では入寮をご希望される方を随時受け付けています。

入寮をご希望される方、検討されている方は、お気軽に以下のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお定員を満了した場合には、受付を締め切らせていただきますのでご了承ください。

電話でのご相談

044-933-0819 11:00~17:00 月・水・金曜日(2月・3月は月~土曜日)

メールでのご相談

noborito@gakuryo.or.jp

学寮ホームページ(アドレス、<http://gakuryo.or.jp/>)もご参考ください。

初期費用

| 内 訳 | 金 額(備 考) |
|-----|-------------------------------------|
| 入寮費 | 15万円 (入寮時のみ。契約更新手数料はありません) |
| 預り金 | 3万円 (退寮時の清掃費・補修代。精算し余剰金がある場合は返金) |

寮費

| | 男子寮 A タイプ | 男子寮 B タイプ | 女子寮 |
|---------|--|----------------------|----------------------|
| 1ヶ月の費用 | 広さ 約 7.8 畳 部屋数 6 室 | 広さ 5.4 畳 部屋数 18 室 | 広さ 6.2 畳 部屋数 15 室 |
| 住居費 | 42,500 円 | 39,500 円 | 44,500 円 |
| 食費(朝・夕) | 20,000 円(日曜は夕食なし、祝日・閉寮期間(注1)の食事はありません) | | |
| 共益費 | 13,000 円(水道・ガス、および共用施設の費用) | | |
| 合 計 | 75,500 円 | 72,500 円 | 77,500 円 |
| その他実費 | 個室の電気代実費 乾燥機の使用料=1 回につき 100 円 | | |

(注1) 閉寮期間中の食費はかかりません
閉寮期間は年度によって異なります
閉寮期間中も居室や施設の利用は可能です